



一関市立山目小学校 校報 No.15
2024. 9. 9 文責:校長 菊池



要確認

台風大雨に備える

山目小の対応 再確認！

約80年前、2年連続で台風におそわれた一関市では、山目地区を含め600人近くの死者・行方不明者が出ています。近年は、台風や豪雨被害が拡大しています。「他人事・昔の事」と見過ごしてはなりません。

ハザードマップ (<https://bousaimap.saksak.jp/#>) では、磐井川に近い末広、青葉、中央町、五代町、宮下町では、河川の氾濫時、0.5mから3mの浸水可能性が示されています。最大浸水3mとは1階天井まで水につかるということです。また、照井堰などの用水路もあり、強い流れに近づくことは大変危険です。

台風・豪雨で危険な場合(山目小の対応)

- 登校前** 予報により、休校や登校時刻の変更を要する場合、当日、朝6時頃までにメール連絡
- 登校後** 風雨や雷で危険な場合、まずは学校待機
児童のみの下校が危険な場合は、保護者引き渡しをメール連絡
- その他** 磐井中学区の4校で同じ対応をします。
(磐井中、赤荻小、中里小、山目小)

◆ 校長日記 ◆

たった5分の訓練でも

雨で縮小の訓練でも
真剣な子供たち ていねいな指導

8月30日(金)避難訓練を行いました。地震後の火災を想定し、校庭避難や消火器体験、煙の中の避難体験を予定していました。

しかし当日は雨。しかも台風10号対応で、消防署の方々も来校いただけなくなりました。そこで、机の下で揺れから身を守り、廊下に避難するまでの、5分程の簡単な訓練としました。

紹介したいのは、ことり学級(特別支援学級)での訓練の様子。障がいがある子にとって、サイレンや緊急放送の音は、大きな恐怖につながります。あらかじめ知らせることで、恐怖心をやわらげ、身を守る動きや避難の動きを、先生があえてゆっくり落ち着いた声で伝えていました。

たった5分程の短い訓練でしたが、真剣な子供たちの様子と先生方のていねいな指導に感激でした。



【命を守る方法をていねいに指導】

ようこそ山目小へ

〇〇 〇〇 先生が着任

山目の子の先輩です

1学期末の〇〇 〇〇 教諭の転任により、本校では教員1名が欠員となっていました。

この度9月より〇〇 〇〇講師が着任しましたので紹介します。

〇〇先生は、山目出身の25歳。山目小学校、山目中学校(現磐井中学校)を卒業された山目の子の先輩です。体を動かすことが大好きで、休み時間に子供たちと一緒に遊ぶのが楽しみと話されています。

指導担当は検討中ですが、5・6年生の算数サポートやいくつかの学年の教科専科を予定しています。



自分が学んだ学校で、教えることができることを光榮に思います。

サッカーが好きなので、子供たちと一緒に汗を流すのを楽しみにしています。

【〇〇 〇〇です よろしくお願ひします】